

第 58 回全国学童保育研究集会（20231104~20231105）レポート

【クラブ】（ たけのこクラブ ）

【名 前】（ 米本美紀 ）

① 2 日目に参加した分科会のタイトルをお書きください。

第（ 18 ）分科会 （学童保育と学校～保護者と指導員と教師のかかわり）

※全体会のみに参加の場合は、全体会の記念講演のタイトルをお書きください。

② この分科会を選んだ理由をお書きください。

大学教授の分科会が多く小難しい分科会ばかり受けていましたが子どもを保育している現場のお話しが聞いてみたくて学校の先生の分科会は初めてで興味があったからです。

③2 日間の全体会と分科会で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

現在の学校の置かれている現状や課題のお話からでした。

新型コロナでマスク着用が当たり前になり、子ども達にも変化が出てきたそうです。会話を極力控える、特別活動の自粛（運動会や学芸会など）給食の黙食など、何しに学校に来ているのか？ただ、勉強だけをしに行き面白みのない学校へとなりました。その中でタブレット学習があり、学校へ登校しなくてもオンライン学習が楽だと思わせてしまう学校生活。学校に行けば、友だちとのトラブルに巻き込まれることも沢山ある中で、今では人と距離をとりトラブルを極力回避する子どもが多くなっていて、本当にすぐ学校を休む子どもが年々増えていて、不登校児童が全国で 30 万人に達しているそうです。ひと昔は、友だちとのトラブルがあっても翌日は行きたくなくても、行かなくていいという選択肢はなく、とりあえず学校に行くのが普通でしたが、今ではとりあえず休むという子どもが多く、それを「行きたくなければ行かなくていい」と許容してしまう保護者がとにかく多いということです。

友だちとケンカをしても仲直りの仕方が分からない子どもが年々増えている、だから自分が犠牲者となり、親に伝えるため保護者からの苦情が絶えないそうです。

わが子の相談をしてくれる保護者は少なく、苦情のが多く大変なんです。日々ビクビクしている先生も少なくないそうです。

そうした子ども達をみていると、学童に通っている子に感じる「強さ」があるそうです。人と直接かかわり合い、とても子どもらしい少年期を過ごせているのかも。多少のことではへこたれない子が多いように思うと仰っていました。

縦横の人間関係を子ども達は無意識に学童で学んでいるんだなと思いました。

子ども達には沢山の経験をしてほしいし、経験をさせてあげたいと思いました。